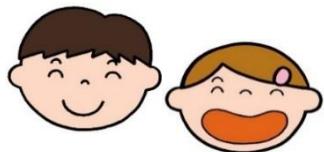


～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つ む ぐ

No. 75

令和7年3月14日発行

袋井市幼児教育センター

## 園生活から学校生活へ



「プレゼントを作って渡そう」と年下の子どもたちが相談しながら、制作をしました。

各園で豊かな体験を積んで大きく成長した子どもたちは、次のステップに進んでいきます。

園では巣立っていくお兄さんやお姉さんに感謝の気持ちを込めた「ありがとうの会」などが開催されます。思い出いっぱいの園生活から期待をふくらめて、小学校生活に移行します。



新しい年長さんに遊びを託します。



5歳児は様々な場や機会を経て自信を高めていきます。また、友達と力を合わせて、最後までやり遂げる力も育まれます。



手話を入れた歌で、家の人に対する感謝の気持ちを表わします。

行事の司会など任せられる体験が自信につながります。

幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。  
袋井市教育委員会 幼児教育センター TEL:86-5511

- |                         |
|-------------------------|
| 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿) |
| (1)健康な心と体               |
| (2)道徳性 規範意識の芽生え         |
| (3)社会生活との関わり            |
| (4)自立心                  |
| (5)自然との関わり・生命の尊重        |
| (6)言葉による伝え合い            |
| (7)協同性                  |
| (8)思考力の芽生え              |
| (9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 |
| (10)豊かな感性と表現            |